



◇指導のねらい

一日の流れに見通しを持ち、次にすることが分かって、自分から取り組むことができる。

終わった活動とこれからの活動を自分で確認することができる。

◇指導方法

幼児が登校してきて、自分でケースの中に荷物を分けていく。

左から順に、

- ① きがえ（オレンジ）
- ② あそび（緑）
- ③ 給食（青）

という、一日の流れに応じたものを入れる。

活動を始めるときに、幼児が自分で取り出し、終わったらロッカー、鞆等に片づける。

空になったことを確認し、次の活動を確かめる。

◇指導の評価

併せ持つ障害のある弱視幼児に使用。年少の2学期より開始し、2学期末には使い方を覚えた。年少の間は担任と一緒に持ち物や使うものを入れるようにした。

年中になると教師が付き添わなくても自分から仕分けをするようになり、一日の流れに合わせて、自分で取り出すようになった。

体操服や食事セット等の具体物やあそびのシンボルを用いたことで、自分で次の活動を理解し、落ち着いて行動するようになった。